

地域の危険度マップ

笠間市役所の直下を震源とする「直下地震」を想定した場合

地域の危険度マップについて

地域の危険度マップとは、ゆれやすさマップで予測される地震が発生した場合に、住宅等の建築物の被害を推計し、地域の危険度を色分けして表示したマップです。
住宅等の建築物の被害は、ゆれやすさマップで予測される揺れと、住宅等が建築された年の構造データを用いて、50mメッシュ(50m×50mの網目)ごとに倒壊棟数を推計しています。
危険度の高い地域の既存の住宅等の建築物については、耐震診断を行い、必要に応じて補強するなどの対策を講じることが大切です。



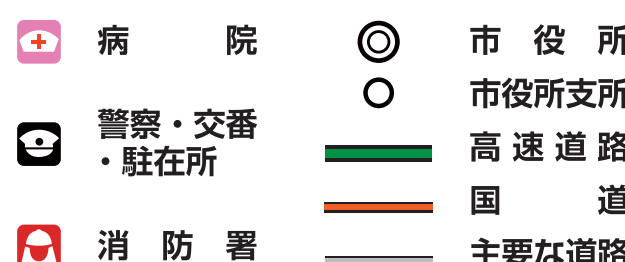
避難所一覧

笠間地区			
笠間小学校	笠間 2689 番地 1	0296-72-0076	
東小学校	大橋 1713 番地 1	0296-72-8122	
佐城小学校	金井 83 番地 1	0296-72-1381	
箱田小学校	箱田 1115 番地 1	0296-72-1380	
南小学校	南吉原 1188 番地	0296-72-1383	
稲田小学校	稲田 2151 番地 2	0296-74-2301	
笠間中学校	笠間 2702 番地	0296-72-0120	
東中学校	福田 906 番地 6	0296-72-8121	
南中学校	北吉原 15 番地	0296-72-1385	
稲田中学校	稲田 2145 番地 3	0296-74-2004	
県立笠間高等学校	笠間 1668 番地	0296-72-1171	
笠間公民館	石井 2068 番地 1	0296-72-2100	
笠間市民体育館	石井 2068 番地 1	0296-72-2101	
武道館	石井 2068 番地 1	0296-72-2101	

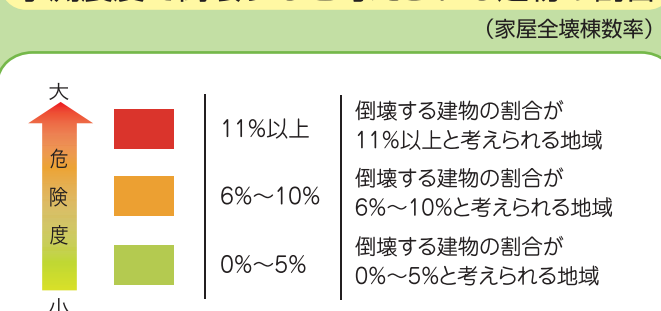
友部地区			
大戸小学校	平町 22 番地	0296-77-0209	
友部小学校	美原三丁目 3 番 1 号	0296-77-0009	
友部第二小学校	平町 1718 番地 93	0296-77-7946	
北川根小学校	湯崎 1085 番地 1	0296-77-1364	
大蔵小学校	小蔵 3522 番地 1	0296-77-0434	
友部中学校	中央四丁目 1 番 1 号	0296-77-0073	
友部第二中学校	旭町 510 番地 1	0296-77-7809	
県立友部高等学校	大田町 352 番地 15	0296-77-7676	
いこいの家はなさが	横川 586 番地 4	0296-77-5110	
友部公民館	中央三丁目 3 番 6 号	0296-77-7533	
ゆかいなあいセンター	長尾路に古田入会地 1 番地 171	0296-78-3796	

岩間地区			
岩間第一小学校	下郷 4140 番地 1	0299-45-2042	
岩間第二小学校	押辺 529 番地 1	0299-45-2169	
岩間第三小学校	市野谷 1542 番地 19	0299-45-6168	
岩間中学校	下郷 4997 番地 1	0299-45-2624	
岩間海洋センター	押辺 2259 番地 1	0299-45-7085	

凡例



予測震度で倒壊すると考えられる建物の割合



被害を防ぐポイント

日頃から万が一に備え家庭を点検し、危険を少しでも減らす工夫をしましょう。

収納に工夫

- 家の中の収納庫を点検し、重いものは下に、軽いものは上に収納しましょう。
- 本棚などは、隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。

入り口付近に注意

- 避難の際の障害にならないよう、部屋の入り口付近には物を置かないようにしましょう。

屋根の補強

- 不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておきましょう。

照明器具の補強

- 天井に直接取り付けタイプの照明を使用しましょう。
- つり下げ式のものは、鎖と金具を使って数カ所留めて補強しましょう。
- 蛍光灯は蛍光管の落下を防止するため、両端を耐熱テープで留めておきましょう。

転倒防止金具等の利用

- 壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと床などに固定するタイプがあります。
- 家具や室内の状況によって選びましょう。
- 空間を作らないようにしましょう。
- 重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎましょう。
- 突っ張り棒タイプのものを設置する場合は、家具の両端の裏に設置するなど、しっかりと固定できるか調べましょう。

解放防止金具の利用

- 扉「引き出し」が開かないようにしましょう。
- 収納物の落下を防止するために、棚板に落下止め、のふきんなどを敷いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止棒をつけましょう。

プロパンガスの固定

- ボンベをしっかり鎖で固定しておきましょう。

外壁の補強

- 地震の際に外壁材や窓ガラスの落下によって、建物だけでなく周辺にいる人や物にも被害を及ぼす場合があります。
- 外壁材や窓ガラスの損傷や劣化を点検し、地震時の落下による被害を防止しましょう。

落ちる危険のあるものは置かない

- テレビはできるだけ低い位置に固定しておきましょう。
- 家具の上に落ちる危険のあるものを置かないようにしましょう。

ベランダの整理

- 植木鉢などの整理整頓をしておきましょう。

ガラスの飛散防止対策

- 飛散防止フィルムを貼りましょう。
- 食器棚や額縁などに使われているガラスにも飛散防止フィルムを貼りましょう。

ブロック塀の補強

- 地震発生時のブロック塀の倒壊による被害や道路閉鎖などへの対策として、ブロック塀の補強を行います。
- ブロック塀の構造について、建築基準法施行令第62条の8で基準が定められています。現行の基準に適合するように補強しましょう。

もし、地震が起きたら！

地震から身を守る最大のポイントは、事前の備えと冷静な判断力です。いざという時の行動を日頃から確認しておきましょう。

地震が起きた時の行動

グラッ

ときたら



地震発生

命を守る

- 落ち着いて、自分の身を守る
- すばやく火の始末
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確認

1～3分

家族を守る

- 家族の安全を確認
- 火元を確認・初期消火
- 靴をはく
- 必需品を手元に用意
- 余震に注意

5～10分

地域を守る

- 隣近所の安全を確認
- ラジオなどで情報を確認
- 電話はなるべく使わない
- 電気のブレーカーを切る
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難

10分～数時間後

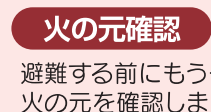
避難生活では

- 協力して消火・救出活動
- 生活必需品は簡易でまかなう
- 災害情報、被害情報の収集
- 壊れた家には入らない
- 引き続き余震に注意
- 避難所では集団生活のルールを守る



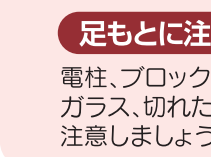
階段から避難

避難時は、エレベーターを利用せず階段から避難しましょう。



火の元確認

避難する前にもう一度、火の元を確認しましょう。



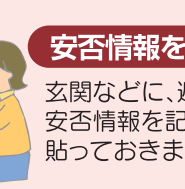
足もとに注意

電柱、ブロック塀、ガラス、切れた電線等に注意しましょう。



安全な服装

長袖、長ズボンなどの安全な服装を適用し、建物のそばを避けましょう。



安否情報を知らせる

玄関などに、避難先や安否情報を記したメモを貼っておきましょう。

- 室内では 頭を保護し、大きな家具から離れ、机の下などに隠れる。構って外へ飛び出さない。
- 室外では ブロック塀、自動販売機、ビルの壁などから離れる。落石やがけ崩れに注意する。
- 自動車の運転中 急ブレーキ、急ハンドルをきいて、ハザードランプを点灯して緩やかに停止する。

みんなで協力しましょう

災害時要援護者のために

高齢者・寝たきりの方のために

- 緊急の際は、おぶって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。
- 不安を取り除くように声をかける。

車いすをご利用の方のために

- 階段では、2人以上の協力が必要で、上からは前向き、下からは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意しておぶって避難する。

災害時要援護者の方々を災害から守るために、地域で協力しあいながら支援していきましょう。

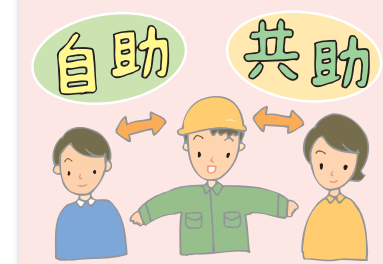
目の不自由な方のために

- 緊急時には、声をかけ、情報を伝える。
- 誘導する場合には、杖を持った方の手には触れず、ひしひしのあたりを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩く。

耳の不自由な方のために

- 話す時は、口の開け方をハッキリと、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

自主防災組織への参加



大規模な地震が発生したとき、交通網の寸断、同時に発生する火災などにより、市・警察署・消防署等の公共機関が充分に対応できない可能性があります。また、それぞれの家庭がバラバラに活動しては、地域の混乱は一層ひどくなります。そんなときに力を発揮するのが「地域ぐるみの防災活動」自主防災組織です。いざというときに備えて、日頃から「自分たちの地域は自分たちで守ろう」という意識のもと、自治会活動の一環として自主防災組織に参加しましょう。

わが家を点検しましょう

大地震による家屋の倒壊から身を守るため、まずは自分くらゐ家の安全性を知ることが大切です。笠間市では「災害につよまいつくり」を推進することを目的として木造住宅耐震診断事業を実施しています。

